

平成 21 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 79 回〔三級自動車ガソリン・エンジン〕

平成 22 年 1 月 17 日

32 問 題 用 紙

受験地		回数		種類		番号				氏名	
		7	9	3	2						

〔注意事項〕

1. 受験地、受験番号及び氏名を該当欄に記入しなさい。
2. 問題の中には解答の記入を必要としているものもあります。解答の記入は問題用紙の該当欄に記入しなさい。
3. 問題用紙の余白部分には自由にメモすることができます。
4. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

問題 1 ここにあるシリンダ・ヘッドとバルブ・スプリングについて、次の各問に答えなさい。
 なお、測定は、台上にある計測機器の中から適切なものを選んで行いなさい。

問 1 表のシリンダ・ヘッドの測定項目について、シリンダ・ヘッド下面の二箇所^{ひずみ}で歪の測定を行い、その結果の数値を該当欄に、小数点以下第 2 位まで記入しなさい。
 なお、シリンダ・ヘッド下面の歪の測定箇所等は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目		測定結果
下面の歪	D 方向	mm
	E 方向	mm

問 2 表のバルブ・スプリングの測定項目について、自由長及び直角度を測定し、その結果の数値を該当欄に、小数点以下第 1 位(小数点第 2 位以下を切り捨て)まで記入しなさい。
 なお、バルブ・スプリングの測定箇所等は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目	測定結果
自由長	mm
直角度	mm

問題 2 ここにあるスロットル・ボデー及びスタータについて、次の各問に答えなさい。

なお、測定結果の単位については Ω のみとします。k(キロ)やm(ミリ)などを Ω の前には記入しないで下さい。

問 1 表のスロットル・ポジション・センサの測定項目について、デジタル式サーキット・テスタを用いて、各端子間の抵抗値を測定用引き出し線の端子で測定し、その結果の数値を該当欄に、1 Ω 未満を切り捨てて記入しなさい。

また、それぞれの基準値に基づいて良否判定を行い、該当するところに○印を付けなさい。

なお、このセンサの各端子間抵抗の基準値及び回路図は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目	スロットル・バルブ開度	測定結果	各抵抗値の良否判定
T端子とE端子間	全閉時	Ω	良・否
	全開時	Ω	良・否
B端子とE端子間	—	Ω	良・否

問 2 表のスタータの測定項目について、アナログ式サーキット・テスタを用いてスタータのマグネット・スイッチのプルイン・コイルとホールディング・コイルの抵抗値を、測定用引き出し線の端子で測定し、その結果の数値を該当欄に、小数点以下第1位(小数点第2位以下を切り捨て)まで記入しなさい。

なお、スタータの回路図等は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目	測定結果
プルイン・コイル	Ω
ホールディング・コイル	Ω

問題 3 ここにあるコンロッドについて、次の問に答えなさい。

なお、測定は、台上にある計測機器をすべて用いて行いなさい。

問 1 表のコンロッドの測定項目について、コンロッドに装着してあるベアリングの内径を二箇所測定し、その結果の数値を該当欄に、小数点以下第 2 位(小数点第 3 位以下を切り捨て)まで記入しなさい。

測定は、留意事項の測定手順に従って行いなさい。

なお、測定箇所等は、台上の留意事項に示してあります。

測定項目	測定結果
D ₁	mm
D ₂	mm